

鹿児島市防災資機材等備蓄計画

平成 26 年 3 月

平成 28 年 4 月 一部改訂

平成 28 年 12 月 一部改訂

平成 31 年 4 月 一部改訂

令和 5 年 3 月 一部改訂

鹿児島市危機管理課

第1章 備蓄計画の概要

- 1 策定の目的
- 2 策定の基本方針

第2章 備蓄体制及び支給対象者の基本的な考え方

- 1 備蓄の基本的な考え方
- 2 支給対象者の基本的な考え方

第3章 食糧・資機材・生活用品の備蓄

- 1 行政備蓄
 - (1)食糧の備蓄
 - (2)資機材の備蓄
 - (3)生活用品の備蓄
 - (4)行政備蓄物資の調達・管理
- 2 流通備蓄
- 3 家庭内備蓄
- 4 企業内備蓄
- 5 被災地外からの支援

第4章 備蓄保管場所一覧

〈参考〉

- ◎備蓄物資の目標数量算出根拠
- ◎避難所ごとの備蓄物資数量

第1章 備蓄計画の概要

1 策定の目的

大規模な災害が発生した場合、被災した人々の安全・安心を守るためには、行政、市民や自主防災組織、事業者等の各主体が連携・協力することが重要である。また、新潟県中越地震（平成16年）、東日本大震災（平成23年）などの近年発生した災害では、被災地外からの支援物資の円滑な受入れ・供給体制の整備の必要性が浮き彫りとなり、災害時の物流体制に関する課題が明らかとなっている。

本市は、過去の災害からの教訓を踏まえ、備蓄に関する各主体の役割を明確にするとともに、大規模災害等にも対応できる食糧や資機材・生活用品の備蓄体制を整備することにより、本市の防災対策の強化を図ることとする。

2 策定の基本方針

災害時の備蓄体制は、「自助」（自らの力で行う）、「共助」（事業者や自主防災組織等が助け合う）、「公助」（公的機関が支援を行う）の連携により実施することが重要である。

本備蓄計画の策定にあたっては、行政（本市）が行う備蓄をはじめ、市民による家庭内備蓄、事業者による企業内備蓄、協定企業と連携した流通備蓄等の基本的な考え方を明らかにしたうえで、特に本市による備蓄、調達、管理及び配備・供給体制を整備するための基本方針を定めるものとする。

なお、本計画における行政備蓄（集中備蓄・地域内備蓄）については、地域間の備蓄数量の均衡を図りながら、平成26年度から平成29年度までの4年間に整備し、新たに追加や見直しを行った備蓄物資については、平成30年度以降も計画的な整備を行うものとする。

第2章 備蓄体制及び支給対象者の基本的な考え方

1 備蓄の基本的な考え方

大規模災害の発生直後は、物流・流通機能等が混乱することが懸念されるため、被災地外からの支援が行き届かないことや被災地のニーズを的確に収集することが困難な状況となることが想定される。したがって、この間は、市民、事業者、行政を含めた備蓄による物資の供給体制を整備する必要がある。

(1) 自助・共助による備蓄の考え方

災害発生直後における被害や混乱を最小限にとどめるためには、市民や自主防災組織、事業所等が「自らの安全は自ら守る。地域の安全は地域で守る。」という自助・共助の考え方を認識することが重要である。

したがって、平常時から災害時に必要な物資を備蓄しておくことは極めて重要であり、市は市民の備蓄意識の高揚を図るための啓発を推進していくものとする。

(2) 公助による備蓄の考え方

市における備蓄は、自助・共助により賄われる備蓄物資等を補完するとともに、住宅等の被災者に対して支給する目的で行われるものである。

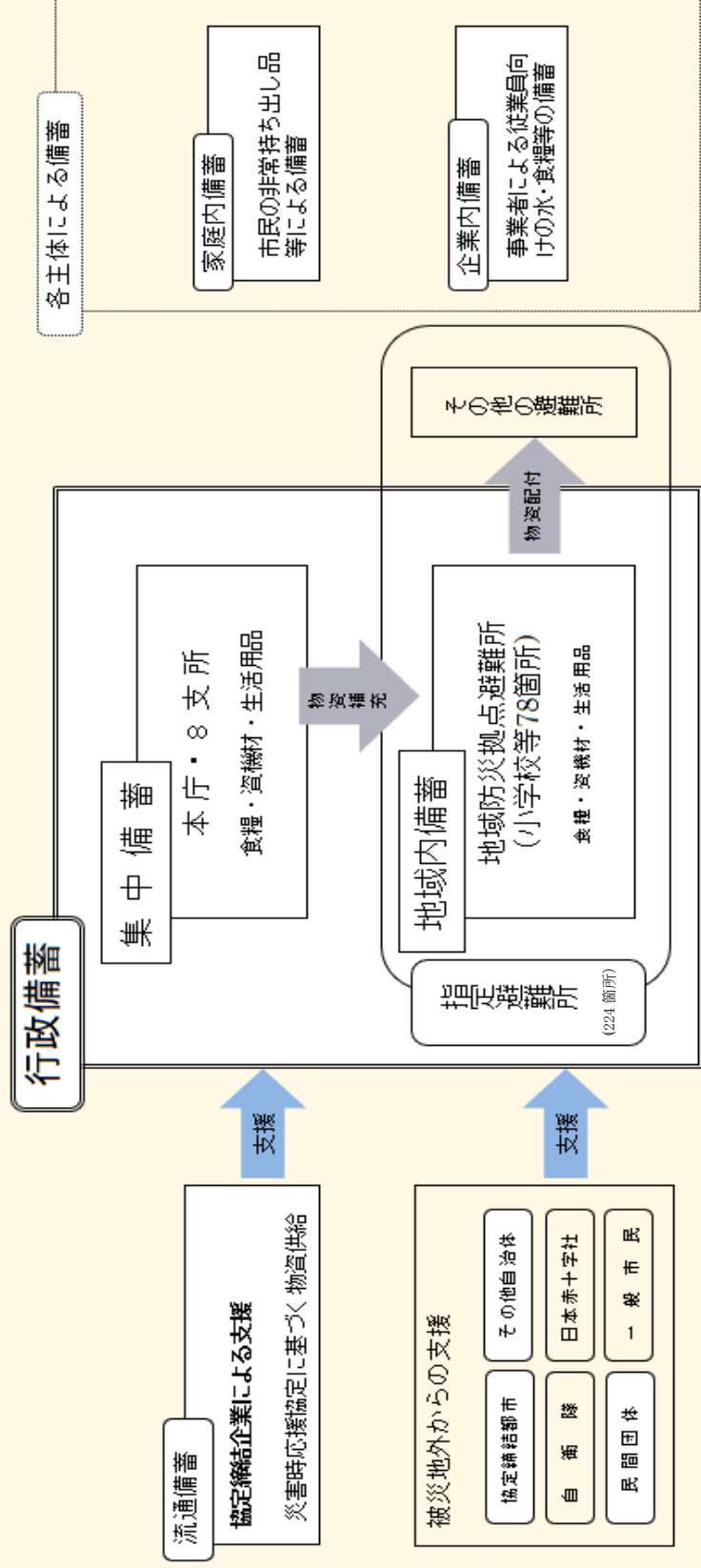
したがって、市は家庭等における備蓄の推進について働きかけを強化する一方、基礎的な地方公共団体の責務として、様々な事態に的確に対応できるよう食糧、資機材、生活用品の物資の備蓄、調達を図るものとする。

本市では、行政による備蓄(集中備蓄、地域内備蓄)、家庭内備蓄、企業内備蓄、流通備蓄それぞれの考え方にに基づき、互いに連携することで被災者の避難生活を支援するものとする。

○備蓄体制

備蓄体制	概 要
<p>①行政備蓄 (集中備蓄) (地域内備蓄)</p>	<p>行政備蓄とは、市が平常時から行う食糧等の備蓄をいう。大規模災害時には、家屋の倒壊、焼失等により、多数の避難者、負傷者が発生することが予想されることから、行政備蓄として平時から食糧、資機材及び生活用品の備蓄を行うことが必要である。</p> <p>(集中備蓄) 本市では、本庁及び各支所管内に非常用食糧等を集中的に備蓄し、被災地外からの支援体制の本格化や流通機能の段階的回復まで、避難所へ供給する体制をとる。</p> <p>(地域内備蓄) 避難者に対し、地域内において、避難時に必要な物資が提供できるよう、小学校区ごとに避難所等の地域の拠点（主に小中学校など）に物資を備蓄する。</p>
<p>②家庭内備蓄</p>	<p>家庭内備蓄とは、市民が自らの家庭内において、食料や飲料水の備蓄を行うなど、日頃から災害時に必要な物資を蓄えておくことをいう。災害時には被災地域における流通機能が混乱し、物資等が不足することが見込まれることから、各家庭における備蓄を促進していく必要がある。〈3日分以上の食糧・飲料水の備蓄を推奨する。〉</p>
<p>③企業内備蓄</p>	<p>企業等は、災害時における従業員との連絡方法を定め、食糧や飲料水の備蓄等を推進し、災害が発生した場合には、地域住民と協力し、周辺地域における防災活動を協働で行うことが求められている。〈3日分以上の食糧・飲料水の備蓄を推奨する。〉</p>
<p>④流通備蓄</p>	<p>流通備蓄とは、市内の食料品店などの事業所等と市があらかじめ協定等を締結し、災害時に必要な物資（食料や生活必需品等）を調達することをいう。この流通備蓄を活用していくことによって、市全体の備蓄体制の構築に努めるとともに、平時から事業所等との協定を積極的に締結することによって、円滑な物資の調達体制を確保していくことが必要となる。</p>

避難所を中心とした備蓄体制のイメージ



2 支給対象者の基本的な考え方

本備蓄計画では、鹿児島県が実施した地震等災害被害予測調査による「被害想定結果(案)(平成25年12月)」において、鹿児島湾直下を震源とする地震による被災1日後の本市の避難者数は37,600人(避難所:22,600人、避難所外:15,000人)とされていることをふまえ、食糧等の支給対象者は37,600人とし、資機材等の支給対象者については、避難所生活に必要な物資であることから、避難所避難者22,600人とする。

なお、鹿児島県が実施する「地震等災害被害予測調査」で新たな被害想定が公表された場合は、備蓄物資の支給対象者数を見直すこととする。

○本市における地震災害被害想定(震源:鹿児島湾直下)

項目		被害想定	
想定震度		最大震度7	
建物被害	全壊・焼失棟数(冬18時)	9,400棟	
	半壊棟数(冬18時)	30,500棟	
人的被害	死者数(夏12時)	260人	
	負傷者数(冬深夜)	1,900人	
	重傷者数(冬深夜)	1,100人	
生活支障の被害	避難者数(冬18時) 〔被災1日後〕	避難所	22,600人
		避難所外	15,000人
		計	37,600人

鹿児島県の地震等災害被害予測調査による「被害想定結果(案)(平成25年12月)」より

第3章 食糧・資機材・生活用品の備蓄

1 行政備蓄

地震被害により多数の避難者が発生し、既存の流通が機能しない状況も起こり得るが、東日本大震災を例にとると、スーパーやコンビニエンスストアなどでは災害発生翌日には物資を供給できている実態もみられた。本備蓄計画では、被災後2日目からは協定締結企業等から調達が可能となることなどを前提として、避難想定者数の1日分の物資を備蓄することを目標とし、食糧（5品目）、資機材（27品目）、生活用品（30品目）を計画的に備蓄することとする。

(1) 食糧の備蓄

食糧に関する備蓄品目と目標数量(1日分)〈5品目〉

	品目	目標数量
1	保存用米製食品（アルファ米等・5年保存）	56,400食
2	保存用パン（5年保存）	56,400食
3	乳幼児ミルク（1.5年保存）	376パック
4	ペットボトル水2ℓ（5年保存）	75,200本
5	非常用携行食品（5年保存）	37,600食

(2) 資機材の備蓄

資機材に関する備蓄品目と目標数量〈27品目〉

	品目	目標数量
--	----	------

1	給水タンク（100用）	2,260個
2	カセットコンロ	904個
3	カセットボンベ（コンロ用）〈3本入り〉	452セット
4	簡易燃料セット（湯沸かし）	904個
5	簡易燃料セット（調理用）	444個
6	なべ	226個
7	トラロープ	196本
8	3Wayランタン	2,260個
9	ラジオ付きライト	4,520個
10	乾電池単三型〈20本入り〉	226箱
11	乾電池単四型〈12本入り〉	452箱
12	発電機（カセットボンベ式）	88台
13	カセットボンベ（発電機用）〈3本入り〉	176セット
14	エンジンオイル	88個
15	発電機（ガソリン式）	28台
16	燃料缶（200）	28缶
17	扇風機	210台
18	投光器	20台
19	コードリール	98台
20	リアカー	98台
21	担架	88台
22	担架（布）	28台
23	救急セット（10人用）	78セット
24	救急セット（20人用）	6セット
25	救急セット（50人用）	14セット
26	個室用テント	120基
27	パーティーション	100基

(3) 生活用品の備蓄

生活用品に関する備蓄品目と目標数量〈30品目〉

	品目	目標数量
1	毛布	37,600枚
2	紙皿	22,600枚
3	割り箸	22,600本
4	紙コップ	22,600個
5	マルチハサミ（缶切り等）	288本
6	ごみ袋（90ℓ）〈100枚入り〉	98箱
7	ウェットティッシュ〈20枚入り〉	11,300個
8	マスク（子供用）〈50枚入り〉	112箱
9	マスク（大人用）〈50枚入り〉	429箱
10	簡易トイレ（凝固・衛生袋100枚セット）	678セット
	簡易トイレ（凝固・衛生袋20枚セット）	2,500セット
11	簡易便座	644個
12	簡易トイレ（便器・トイレテントセット）	322基
13	オストメイト対応簡易トイレ	10個
14	トイレットペーパー〈12個入り〉	263箱
15	消毒用アルコール	486本
16	消臭スプレー	486本
17	ポリバケツ（90ℓ）	196個
18	ゴム手袋〈100枚入り〉	250箱
19	大人用紙オムツ	545枚
20	乳児用紙オムツ	9,024枚
21	おしりふき	226個
22	哺乳瓶	376本
23	哺乳瓶消毒液	96本
24	非常用湯沸かし器	376本
25	生理用品	19,430枚
26	下着干し（室内干し）	36個

27	保温用アルミシート	22,600枚
28	歯ブラシ	37,600本
29	タオル	37,600枚
30	石けん（3個入り）	250箱

(4) 行政備蓄物資の調達・管理

①食糧の調達

行政備蓄物資の食糧は計画的に購入するものとし、原則 5 年間以上の保の保存期限を有するものを購入する。乳幼児ミルクについては、保存期限ができるだけ長いものを購入する。また、食物アレルギーに配慮した食糧の確保に努める。

②備蓄物資の管理

備蓄物資は、数量点検や目視確認などを行い、災害発生時において速やかに対応できるよう、適切な管理を行うものとし、地域防災拠点避難所等に備蓄する物資については、特に安全面に配慮する。

2 流通備蓄

本市では、災害時において、流通や飲食関係業者などの企業等と食糧、資機材及び生活用品の供給に関する協定を締結しており、災害時には必要な物資を調達・運搬できる体制を構築している。

今後も必要な事項について協定を締結し、救援体制を強化していく。

○食糧等の物資に関する協定締結企業（令和 5 年 4 月時点）

株式会社 エーコープ鹿児島	鹿児島県パン工業協同組合
生活協同組合 コープかごしま	株式会社 タイヨー
株式会社 ハルタ	株式会社 山形屋
株式会社 山形屋ストア	株式会社 南九州ファミリーマート
イオン九州株式会社	コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社
サントリービバレッジサービス株式会社	株式会社 M i s u m i
エス・パックス株式会社	日之出紙器工業株式会社
鹿児島県防水工事業協同組合	N P O 法人コメリ災害対策センター

ミドリ安全鹿児島株式会社	株式会社イケダパン
株式会社ナフコ	株式会社ほっかほっか亭総本部

3 家庭内備蓄

家庭における非常持ち出し品等の備蓄は自助の観点から重要であり、食糧や飲料水を備蓄し、いつでも持ち出せるよう呼びかけを行うものとする。(3日分以上の食糧・飲料水の備蓄を推奨する。)

また、市民への啓発については、市民のひろばなどの広報紙や市ホームページを活用し、さらに備蓄に関する認識を高めるために、市政出前トークや地区別防災研修会などで説明を行い、市民に直接呼びかけることで、家庭内備蓄の推進に努めることとする。

(1) 備蓄食糧の条件

家庭内における備蓄食糧は、次の条件を満たすよう啓発する。

○家庭における備蓄食糧の条件

①	日常生活にも使え、なおかつ長期間保存に耐えられるもの (乾物類は日本の伝統食品で保存日数も長く栄養もある。)
②	調理にあまり手間のかからないもの
③	持ち運びに便利なもの
④	必要最小限のエネルギーや栄養素が確保できるもの

(2) 備蓄に適した食糧・飲料水

備蓄に適した食糧・飲料水としては下表の例に示すものがあり、特別に災害用食糧を用意しなくても、普段購入しているものを上手に活用することで、賄えることを周知する。

また、栄養バランスに配慮し、かつ家族の好みにあうものを、普段から購入するよう呼びかける。

なお、飲料水は、1人1日あたり3リットルが目安となる。

○備蓄に適した食糧・飲料水(例)

主食	○レトルト主食(白米、五目御飯、白粥) ○米、冷凍おにぎり、冷凍めん ○個包装もち ○粉類(小麦粉、ホットケーキミックス) ○アルファ米(御飯、五目御飯、山菜おこわ、赤飯)、乾パン ○即席めん、ビスケット、クラッカー、せんべい、シリアル類 ○乾めん(うどん、そば、そうめん) ○スパゲッティ ○マカロニ ○ビーフン
主菜	魚・肉缶詰(味付け、水煮)、レトルト肉料理、シチュー類缶詰 ○高野豆腐
副菜	野菜類煮物缶詰、サラダ缶詰 ○フリーズドライ食品(野菜、豆類)、カレー・シチュー(缶、レトルト)、 麩 ○インスタントみそ汁、梅干、らっきょう、漬物 ○乾物類(切り干し大根、乾燥わかめ、かんぴょう、昆布、干し椎茸、か んてん、春雨、干えび、煮干し、のり(※)、削りぶし(※) ※はお水や お湯は不要)、チーズ、干し芋
調味料	ビン入り塩、調味料パック(みそ、塩、ソース、ケチャップ、マヨネーズ) ○コンソメ、ごま、こしょう ○フリーズドライ食品(みそ、しょうゆ)
嗜好品	ようかん、あめ、チョコレート、果物缶詰、スナック菓子、ふりかけ ○ティーパック(紅茶、お茶)
飲料	ミネラルウォーター、お茶類(ペットボトル・缶)、スポーツ飲料、トマ トジュース、野菜ジュース、フルーツジュース、スープ缶、ロングライフ 牛乳、スキムミルク
その他	○粉ミルク、ベビーフード等、乳幼児や高齢者が食べられるもの

注) ○が付いている食糧は、お水やお湯が必要になるので、飲料水(1人1日3ℓ)とカセットコンロ及び燃料(カセットボンベ)を用意しておくと同役立つ。その他、割り箸、紙皿、紙コップ等があると食器として使用できる。

4 企業内備蓄

事業者等に対しては、従業員用の食糧・飲料水及び必要な資機材等の備蓄を行うように呼びかける。〈3日分以上の食糧・飲料水の備蓄を推奨する。〉

○事業所等で備蓄することが望ましいもの

品目	内容
□事業所等における備蓄	
食糧・飲料水	3日分以上（推奨）
資機材等	医薬品、携帯トイレ、防水シート、テント、ラジオ、乾電池、ヘルメット、軍手、長靴、自転車など ※保管場所は、取り出すときの容易さ、耐震性、分散化を考慮する。 ※食糧、飲料水等は、定期的な更新が必要
□従業員（個人）で用意することが望ましいもの	
食糧・生活必需品・資機材等	地図、懐中電灯、防寒着、手袋、歩きやすい靴、携帯食糧、飲料水、携帯ラジオ

5 被災地外からの支援

本市で大規模災害が発生した場合、被災地（本市）外から応援協定等に基づき、救援物資等が大量に届けられることが想定され、それらを仕分けする処理能力を超え、救援物資が山積みになることも考えられる。

したがって、受け入れた救援物資の仕分けには、多くのマンパワーを要し、速やかに避難所に搬送できるよう、人的な応援を要請できる体制を築くことも必要である。

○救援物資に関する協定締結一覧（令和5年4月1日）

協定件名	協定内容	協定先
中核市災害時相互	食糧・飲料水及び生活	函館市、旭川市、青森市、八戸市、秋

<p>応援に関する協定</p>	<p>必需物資の提供 資機材及び物資の提供 車両等の提供 職員の派遣 等</p>	<p>田市、山形市、福島市、郡山市、いわき市、水戸市、盛岡市、宇都宮市、越谷市、川越市、川口市、船橋市、横須賀市、柏市、前橋市、高崎市、八王子市、富山市、金沢市、福井市、甲府市、松本市、長野市、岐阜市、豊橋市、岡崎市、豊田市、一宮市、高槻市、枚方市、八尾市、寝屋川市、東大阪市、姫路市、和歌山市、鳥取市長、松江市、大津市、豊中市、吹田市、西宮市、尼崎市、明石市、奈良市、倉敷市、呉市、福山市、下関市、高松市、松山市、高知市、長崎市、佐世保市、大分市、宮崎市、久留米市、那覇市</p> <p style="text-align: right;">61市</p>
<p>鹿児島県及び県内市町村間の災害時相互応援協定</p>	<p>物資等の提供及び斡旋 職員の派遣 施設等の提供 等</p>	<p>鹿児島県及び県内市町村</p>
<p>災害時相互応援に関する協定</p>	<p>応援物資・資器材の提供 応急復旧に必要な職員の派遣 等</p>	<p>渋谷区、大垣市、磐田市</p>
<p>龍馬の絆で結ぶ災害時相互応援に関する協定</p>	<p>食料、飲料水及び生活必需品・資器材の提供 救助及び応急復旧に必要な職員の派遣 等</p>	<p>福山市、霧島市、京都市、長崎市、品川区、下関市、高知市</p>

第4章 備蓄保管場所一覧

○集中備蓄（本庁及び8支所）〈10箇所〉

	地域	施設	所在地
1	中央	本庁	山下町 11-1
2	谷山	谷山支所	谷山中央四丁目 4927
3	伊敷	伊敷支所	伊敷五丁目 15-1
4	吉野	吉野支所	吉野町 3256-3
5	吉田	吉田支所	本城町 1696
6	桜島	桜島支所（桜島地区）	桜島藤野町 1439
7		東桜島合同庁舎（桜島支所（東桜島地区））	東桜島町 863-1
8	喜入	喜入支所	喜入町 7000
9	松元	松元支所	上谷口町 2883
10	郡山	郡山支所	郡山町 141

○地域内備蓄（小学校等）〈地域防災拠点避難所等 78箇所〉

	地域	地区	小学校区
1	中央	中央	城南小学校区
2	中央	中央	中洲小学校区
3	中央	中央	松原小学校区
4	中央	中央	山下小学校区
5	中央	上町	坂元台小学校区
6	中央	上町	大龍小学校区
7	中央	上町	名山小学校区
8	中央	上町	坂元小学校区
9	中央	上町	清水小学校区
10	中央	鴨池	荒田小学校区
11	中央	鴨池	宇宿小学校区

12	中央	鴨池	鴨池小学校区
13	中央	鴨池	中郡小学校区
14	中央	鴨池	西紫原小学校区
15	中央	鴨池	南小学校区
16	中央	鴨池	紫原小学校区
17	中央	鴨池	八幡小学校区
18	中央	鴨池	向陽小学校区
19	中央	城西	草牟田小学校区
20	中央	城西	西田小学校区
21	中央	城西	原良小学校区
22	中央	城西	明和小学校区
23	中央	武・田上	西陵小学校区
24	中央	武・田上	田上小学校区
25	中央	武・田上	武岡小学校区
26	中央	武・田上	武岡台小学校区
27	中央	武・田上	武小学校区
28	中央	武・田上	広木小学校区
29	谷山	谷山北部	皇徳寺小学校区
30	谷山	谷山北部	桜丘西小学校区
31	谷山	谷山北部	桜丘東小学校区
32	谷山	谷山北部	清和小学校区
33	谷山	谷山北部	中山小学校区
34	谷山	谷山北部	星峯西小学校区
35	谷山	谷山北部	星峯東小学校区
36	谷山	谷山北部	宮川小学校区
37	谷山	谷山	錦江台小学校区
38	谷山	谷山	錫山小学校区
39	谷山	谷山	谷山小学校区
40	谷山	谷山	西谷山小学校区
41	谷山	谷山	平川小学校区
42	谷山	谷山	福平小学校区

43	谷山	谷山	和田小学校区
44	谷山	谷山	東谷山小学校区
45	伊敷	—	伊敷小学校区
46	伊敷	—	伊敷台小学校区
47	伊敷	—	犬迫小学校区
48	伊敷	—	花野小学校区
49	伊敷	—	小山田小学校区
50	伊敷	—	玉江小学校区
51	伊敷	—	西伊敷小学校区
52	伊敷	—	皆与志小学校区
53	吉野	—	川上小学校区
54	吉野	—	大明丘小学校区
55	吉野	—	吉野小学校区
56	吉野	—	吉野東小学校区
57	吉田	—	本名小学校区
58	吉田	—	宮小学校区
59	吉田	—	吉田小学校区
60	吉田	—	本城小学校区
61	吉田	—	牟礼岡小学校区
62	桜島	—	黒神小学校区
63	桜島	—	東桜島小学校区
64	桜島	—	桜洲小学校区
65	桜島	—	桜峰小学校区
66	喜入	—	喜入小学校区
67	喜入	—	瀬々串小学校区
68	喜入	—	中名小学校区
69	喜入	—	一倉小学校区
70	喜入	—	前之浜小学校区
71	喜入	—	生見小学校区
72	松元	—	石谷小学校区
73	松元	—	東昌小学校区

74	松元	—	春山小学校区
75	松元	—	松元小学校区
76	郡山	—	郡山小学校区
77	郡山	—	南方小学校区
78	郡山	—	花尾小学校区

〈参考〉

◎備蓄物資の目標数量算出根拠

1 全避難者対象備蓄

(1) 食糧

	品目	目標数量					
		37,600	人×	1.5	食分=	56,400	食
1	保存用米製食品 (アルファ米等・5年保存)	37,600	人×	1.5	食分=	56,400	食
2	保存用パン(5年保存)	37,600	人×	1.5	食分=	56,400	食
3	乳児用ミルク(1.5年保存)	37,600	人×	1%	(乳児)=	376	パック
4	ペットボトル水2ℓ(5年保存)	37,600	人×	2	本=	75,200	本
5	非常用携行食品(5年保存)	37,600	人×	1	食分=	37,600	本

(2) 生活用品

	品目	対象	目標数量							
			37,600	人×	100%	×	1	枚=	37,600	枚
1	毛布	全員	37,600	人×	100%	×	1	枚=	37,600	枚
2	簡易トイレ (凝固・衛生袋20枚セット)	避難所外への避難者 (15,000人)	15,000	人×	3枚	+	5000	枚=	50,000	枚
3	大人用紙オムツ	要介護4~5居宅サービス者 数(市民の0.29%)	1人あたり5枚、1日分を備蓄する							
			37,600	人×	0.29%	×	5	枚=	545	枚
4	乳児用紙オムツ	0歳から2歳 (市民の3%)	1人あたり8枚、1日分を備蓄する							
			37,600	人×	3%	×	8	枚=	9,024	枚
5	哺乳瓶	0歳(市民の1%)	37,600	人×	1%	×	1	本=	376	本
6	非常用湯沸かし器	0歳(市民の1%)	37,600	人×	1%	×	1	本=	376	本
7	生理用品	10歳から56歳の女性(市民 の31%)のうち、3分の1を 生理中と想定	1人あたり5枚、1日分を備蓄する							
			37,600	人×	31%	×	5	枚÷3=	19,430	枚
8	歯ブラシ	全員	37,600	人×	100%	×	1	本=	37,600	本
9	タオル	全員	37,600	人×	100%	×	1	枚=	37,600	枚

2 避難所避難者対象備蓄

(1) 資機材

	品目	目標数量の考え方	目標数量	
1	給水タンク (100用)	[基礎数量]10人につき1個 (地域内備蓄)11,100人÷10人=1,110個 (集中備蓄)11,500人÷10人=1,150個	2,260	個
2	カセットコンロ	[基礎数量]25人につき1個 (地域内備蓄)11,100人÷25人=444個 (集中備蓄)11,500人÷25人=460個	904	個
3	カセットボンベ (コンロ用) (3本入)	[基礎数量]カセットコンロ2個につき3本(1セット) (地域内備蓄)1セット×222個=222セット(666本) (集中備蓄)1セット×230個=230セット(690本)	452	セ ッ ト
4	簡易燃料セット (湯沸かし用)	[基礎数量]25人につき1個 (地域内備蓄)11,100人÷25人=444個 (集中備蓄)11,500人÷25人=460個	904	個
5	簡易燃料セット (調理用)	[基礎数量]25人につき1個 (地域内備蓄)11,100人÷25人=444個	444	個
6	なべ	[基礎数量]100人につき1個 (地域内備蓄)11,100人÷100人=111個 (集中備蓄)11,500人÷100人=115個	226	個
7	トラロープ	[基礎数量]小学校区ごとに2本 (地域内備蓄)2本×78箇所=156本 (集中備蓄)本庁・8支所(9箇所):各4本 計40本	196	本
8	3Wayランタン	[基礎数量]10人につき1個 (地域内備蓄)11,100人÷10人=1,110個 (集中備蓄)11,500人÷10人=1,150個	2,260	個
9	ラジオ付きライト	[基礎数量]5人につき1個 (地域内備蓄)11,100人÷5人=2,220個 (集中備蓄)11,500人÷5人=2,300個	4,520	個
10	単三形乾電池 (20本入)	[基礎数量]100人につき1箱【計4,520本】 (地域内備蓄)11,100人÷100人=111箱 (集中備蓄)11,500人÷100人=115箱	226	箱
11	単四形乾電池 (12本入)	[基礎数量]50人につき1箱【計5,424本】 (地域内備蓄)11,100人÷50人=222箱 (集中備蓄)11,500人÷50人=230箱	452	箱
12	発電機 (カセットボンベ式)	[基礎数量]小学校区ごとに1台 (地域内備蓄)1台×78箇所=78台 (集中備蓄)本庁・8支所(9箇所):各1台 計10台	88	台
13	カセットボンベ (発電機用) (3本入)	[基礎数量]カセットボンベ式発電機1台につき6本(2セット) (地域内備蓄)2セット×78台=156セット(468本) (集中備蓄)2セット×10台=20セット(60本)	176	セ ッ ト
14	発電機 (ガソリン式)	[基礎数量]集中備蓄のみで対応 (集中備蓄)本庁・3支所:各4台 5支所(6箇所):各2台 計28台	28	台
15	エンジンオイル	[基礎数量]備蓄実施箇所につき1個 (集中備蓄)本庁:29個 谷山:17個 伊敷:9個 喜入:7個 吉田:6個 吉野・松元:5個 郡山:4個 両桜島:3個	88	個
16	燃料缶 (20ℓ)	[基礎数量]ガソリン式発電機1台につき1缶 (集中備蓄)本庁・3支所:各4缶 5支所(6箇所):各2缶 計28缶	28	缶

	品目	目標数量の考え方	目標数量	
17	扇風機	[基礎数量]小学校区ごとに2台 (地域内備蓄)2台×78箇所=156台 (集中備蓄)本庁・3支所:各9台 5支所(6箇所):各3台 計54台	210	台
18	投光器	[基礎数量]集中備蓄のみで対応 (集中備蓄)本庁・8支所(9箇所):各2台 計20台	20	台
19	コードリール	[基礎数量]小学校区ごとに1台 (地域内備蓄)1台×78箇所=78台 (集中備蓄)本庁・8支所(9箇所):各2台 計20台	98	台
20	リアカー	[基礎数量]小学校区ごとに1台 (地域内備蓄)1台×78箇所=78台 (集中備蓄)本庁・8支所(9箇所):各2台 計20台	98	台
21	担架	[基礎数量]小学校区ごとに1台 (地域内備蓄)1台×78箇所=78台 (集中備蓄)本庁・8支所(9箇所):各1台 計10台	88	台
22	担架(布)	[基礎数量]集中備蓄のみで対応 (集中備蓄)本庁・3支所:各4台 5支所(6箇所):各2台 計28台	28	台
23	救急セット (10人用)	[基礎数量]小学校区ごとに1セット (地域内備蓄)1セット×78箇所=78セット	78	セット
24	救急セット (20人用)	[基礎数量]桜島支所(東桜島地区)・旧5町支所1箇所につき1セット (地域内備蓄)1セット×6箇所=6セット	6	セット
25	救急セット (50人用)	[基礎数量]集中備蓄のみで対応 (集中備蓄)本庁・3支所・各保健センター(5) 各保健福祉課(5):各1セット	14	セット
26	個人用テント	[基礎数量]集中備蓄のみで対応 (集中備蓄)本庁:48個 谷山:25個 伊敷・吉田:10個 吉野・喜入・松元:6個 桜島・東桜島・郡山:3個	120	基
27	パーテーション	[基礎数量]集中備蓄のみで対応 (集中備蓄)本庁・8支所(9箇所):各10基 計100基	100	基

(2) 生活用品

	品目	目標数量の考え方	目標数量	
1	紙皿	[基礎数量]22,600人×1人1枚=22,600枚 (地域内備蓄)11,100人×1枚=11,100枚 (集中備蓄)11,500人×1枚=11,500枚	22,600	枚
2	割り箸	[基礎数量]22,600人×1人1本=22,600本 (地域内備蓄)11,100人×1本=11,100本 (集中備蓄)11,500人×1本=11,500本	22,600	本
3	紙コップ	[基礎数量]22,600人×1人1個=22,600個 (地域内備蓄)11,100人×1個=11,100個 (集中備蓄)11,500人×1個=11,500個	22,600	個
4	マルチハサミ (缶切り等)	[基礎数量]小学校区ごとに3本 (地域内備蓄)3本×78箇所=234本 (集中備蓄)本庁・3支所:各9本 5支所(6箇所):各3本 計54本	288	本
5	ごみ袋(100枚入り) (90ℓ)	[基礎数量]小学校区ごとに1箱 (地域内備蓄)1箱×78箇所=78箱 【備蓄計9,800枚】 (集中備蓄)本庁・8支所(9箇所):各2箱 計20箱	98	本
6	ウェットティッシュ (20枚入り)	[基礎数量]2人につき1個 (地域内備蓄)11,100人÷2個=5,550個 (集中備蓄)11,500人÷2個=5,750個	11,300	個
7	マスク(50枚入り) (子供用)	[基礎数量]22,600人×子供12%×2枚=5424枚 (地域内備蓄)1箱×78箇所=78箱 【備蓄計5,600枚】 (集中備蓄)本庁10箱 谷山6箱 吉野・伊敷3箱 5支所(6箇所)2箱 計34箱	112	箱
8	マスク(50枚入り) (大人用)	[基礎数量]22,600人×大人88%×1枚=19,888枚 (地域内備蓄)11,100人÷50人=222箱 【備蓄計21,450枚】 (集中備蓄)本庁70箱 谷山41箱 吉野・伊敷18箱 5支所(6箇所)9箱 計207箱	429	箱
9	簡易トイレ (凝固・衛生袋100枚セット)	[基礎数量]22,600人×1人3枚=67,800枚(678セット) (地域内備蓄)11,100人×3枚=33,300枚(333セット) (集中備蓄)11,500人×3枚=34,500枚(345セット)	678	セット
10	簡易便座	[基礎数量]避難所1箇所につき2個 (地域内備蓄)240箇所×2個=480個 (集中備蓄)本庁・3支所:各20個 5支所(6箇所):各14個 計164個	644	個
11	簡易トイレ (便器・トイレメント)	[基礎数量]避難所1箇所につき1基 (地域内備蓄)240箇所×1基=240基 (集中備蓄)本庁・3支所:各10基 5支所(6箇所):各7個 計82基	322	基
12	オストメイト対応 簡易トイレ	[基礎数量]集中備蓄のみで対応 (集中備蓄)本庁・8支所(9箇所):各1個 計10個	10	個
13	トイレットペーパー (12個入)	[基礎数量]避難所ごとに1袋程度(2,880個) (地域内備蓄)126袋(1,512個) 【備蓄計3,156個】 (集中備蓄)本庁40袋 谷山25袋 吉野・伊敷12袋 5支所(6箇所)8袋 計137袋	263	箱
14	消毒用アルコール	[基礎数量]避難所ごとに2本 (地域内備蓄)2本×78箇所=156本 (集中備蓄)本庁100本 谷山50本 吉野・伊敷30本 5支所(6箇所)20本 計330本	486	本
15	消臭スプレー	[基礎数量]避難所ごとに2本 (地域内備蓄)2本×78箇所=156本 (集中備蓄)本庁100本 谷山50本 吉野・伊敷30本 5支所(6箇所)20本 計330本	486	本
16	ポリバケツ (90ℓ)	[基礎数量]小学校区ごとに2個 (地域内備蓄)2個×78箇所=156個 (集中備蓄)本庁・8支所(9箇所):各4個 計40個	196	個
17	ゴム手袋 (100枚入)	[基礎数量]避難所ごとに1箱 (地域内備蓄)2箱×78箇所=156箱 (集中備蓄)本庁30箱 谷山20箱 吉野・伊敷10箱 5支所(6箇所)4箱 計94箱	250	箱

	品目	目標数量の考え方	目標数量	
18	おしりふき	[基礎数量]22,600人×乳児1%×1個=226個 (地域内備蓄)11,100人×1%×1個=111個 (集中備蓄)11,500人×1%×1個=115個	226	個
19	哺乳瓶消毒液	[基礎数量]小学校区ごとに1本 (地域内備蓄)1本×78箇所=78本 (集中備蓄)本庁・3支所:各3本 5支所(6箇所):各1本 計18本	96	本
20	下着干し (室内干し)	[基礎数量]集中備蓄のみで対応 (集中備蓄)本庁・3支所:各6個 5支所(6箇所):各2個 計36個	36	個
21	保温用アルミシート	[基礎数量]22,600人×1人1枚×=22,600枚 (地域内備蓄)11,100人×1枚=11,100枚 (集中備蓄)11,500人×1枚=11,500枚	22,600	枚
22	石けん(3個入り)	[基礎数量]避難所ごとに1箱 (地域内備蓄)2箱×78箇所=156箱 (集中備蓄)本庁30箱 谷山20箱 吉野・伊敷10箱 5支所(6箇所)4箱 計94箱	250	箱

◎避難所ごとの備蓄物資数量

○備蓄物資支給対象者数（食糧等）

地域	支給対象者数（食糧等）		
	地域内備蓄	集中備蓄	行政備蓄(計)
本庁	5,500 人	11,150 人	16,650 人
谷山支所	2,700 人	7,200 人	9,900 人
伊敷支所	1,300 人	2,000 人	3,300 人
吉野支所	800 人	2,100 人	2,900 人
吉田支所	500 人	500 人	1,000 人
桜島支所（桜島地区）	150 人	450 人	600 人
桜島支所（東桜島地区）	150 人	450 人	600 人
喜入支所	300 人	600 人	900 人
松元支所	600 人	450 人	1,050 人
郡山支所	200 人	500 人	700 人
	12,200 人	25,400 人	37,600 人

○備蓄物資支給対象者数（資機材等）

地域	支給対象者数（資機材等）		
	地域内備蓄	集中備蓄	行政備蓄(計)
本庁	5,200 人	3,900 人	9,100 人
谷山支所	2,400 人	2,300 人	4,700 人
伊敷支所	1,150 人	1,000 人	2,150 人
吉野支所	800 人	1,000 人	1,800 人
吉田支所	400 人	600 人	1,000 人
桜島支所（桜島地区）	100 人	500 人	600 人
桜島支所（東桜島地区）	100 人	500 人	600 人
喜入支所	300 人	600 人	900 人
松元支所	450 人	600 人	1,050 人
郡山支所	200 人	500 人	700 人
	11,100 人	11,500 人	22,600 人

○校区ごとの地域防災拠点避難所と備蓄数量

備蓄数量は、校区内の木造家屋率をもとに数量を算出した後、調整(上限 200 人)。

	地域	小学校区	備蓄数量 (人分)	
			食糧等	資機材等
1	本庁	城南小学校区	150	100
2	本庁	中洲小学校区	200	200
3	本庁	松原小学校区	200	200
4	本庁	山下小学校区	200	200
5	本庁	坂元台小学校区	200	200
6	本庁	大龍小学校区	200	200
7	本庁	名山小学校区	200	200
8	本庁	坂元小学校区	200	200
9	本庁	清水小学校区	200	200
10	本庁	荒田小学校区	200	200
11	本庁	宇宿小学校区	200	200
12	本庁	鴨池小学校区	200	200
13	本庁	中郡小学校区	200	200
14	本庁	西紫原小学校区	200	200
15	本庁	南小学校区	200	150
16	本庁	紫原小学校区	200	200
17	本庁	八幡小学校区	150	100
18	本庁	草牟田小学校区	200	200
19	本庁	西田小学校区	200	200
20	本庁	原良小学校区	200	150
21	本庁	明和小学校区	200	200
22	本庁	西陵小学校区	200	200
23	本庁	田上小学校区	200	200
24	本庁	武岡小学校区	200	200
25	本庁	武岡台小学校区	200	150

	地域	小学校区	備蓄数量 (人分)	
			食糧等	資機材等
26	本庁	武小学校区	200	200
27	本庁	広木小学校区	200	200
28	本庁	向陽小学校区	200	150
29	谷山	皇徳寺小学校区	150	100
30	谷山	桜丘西小学校区	150	100
31	谷山	桜丘東小学校区	200	150
32	谷山	清和小学校区	200	200
33	谷山	中山小学校区	200	200
34	谷山	星峯西小学校区	200	150
35	谷山	星峯東小学校区	150	100
36	谷山	宮川小学校区	100	100
37	谷山	錦江台小学校区	200	200
38	谷山	錫山小学校区	50	50
39	谷山	谷山小学校区	200	200
40	谷山	西谷山小学校区	200	200
41	谷山	平川小学校区	100	50
42	谷山	福平小学校区	200	200
43	谷山	和田小学校区	200	200
44	谷山	東谷山小学校区	200	200
45	伊敷	伊敷小学校区	200	200
46	伊敷	伊敷台小学校区	100	100
47	伊敷	犬迫小学校区	200	150
48	伊敷	花野小学校区	200	150
49	伊敷	小山田小学校区	150	100
50	伊敷	玉江小学校区	200	200
51	伊敷	西伊敷小学校区	200	200
52	伊敷	皆与志小学校区	50	50

	地域	小学校区	備蓄数量 (人分)	
			食糧等	資機材等
53	吉野	川上小学校区	200	200
54	吉野	大明丘小学校区	200	200
55	吉野	吉野小学校区	200	200
56	吉野	吉野東小学校区	200	200
57	吉田	本名小学校区	200	150
58	吉田	宮小学校区	100	100
59	吉田	吉田小学校区	50	50
60	吉田	本城小学校区	50	50
61	吉田	牟礼岡小学校区	100	50
62	桜島	黒神小学校区	50	50
63	桜島	東桜島小学校区	100	50
64	桜島	桜洲小学校区	50	50
65	桜島	桜峰小学校区	100	50
66	喜入	喜入小学校区	50	50
67	喜入	瀬々串小学校区	50	50
68	喜入	中名小学校区	50	50
69	喜入	一倉小学校区	50	50
70	喜入	前之浜小学校区	50	50
71	喜入	生見小学校区	50	50
72	松元	石谷小学校区	200	150
73	松元	東昌小学校区	100	50
74	松元	春山小学校区	150	150
75	松元	松元小学校区	150	100
76	郡山	郡山小学校区	100	100
77	郡山	南方小学校区	50	50
78	郡山	花尾小学校区	50	50
			12,200	11,100

